

プログラム

■■■■■■■■ 10月22日(木) 第1会場(仙台国際センター展示棟 展示室1) ■■■■■■■■

14:00~15:30 国際分子甲状腺学シンポジウム

座 長：中尾 佳奈子（国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部）

IMTS-1 Comprehensive in vivo evaluation of thyroid hormone action

Sadahito Kimura (Department of Diabetes, Endocrinology and Nutrition, Kyoto University Graduate School of Medicine)

IMTS-2 Tumor microenvironment in thyroid cancer progression: a lymphatic endothelial cell perspective

Asumi Iesato (NEXT-Ganken program, Japanese Foundation for Cancer Research)

IMTS-3 Molecular and Clinical Features of Congenital Hypothyroidism Due to Multiple DUOX2 Variants

Erika Uehara (Department of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development / Department of Pediatrics, Chiba University Hospital)

16:00~17:30 専門医教育セミナー1

座 長：大場 健司（浜松医科大学医学教育推進センター）

野口 仁志（野口記念会 野口病院）

STS1-1 眼で見て学ぶ！甲状腺眼症の診断と治療

山内 一郎（京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学）

STS1-2 甲状腺癌核医学治療の将来

絹谷 清剛（金沢大学）

STS1-3 小児の甲状腺機能異常症の見方

南谷 幹史（帝京大学ちば総合医療センター小児科）

■■■■■■■■ 10月22日(木) 第2会場(仙台国際センター展示棟 展示室3-B) ■■■■■■■■

12:50~13:40 ランチョンセミナー1 甲状腺機能低下症の臨床的アプローチ： 抗体検査に焦点を当てて

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

座 長：小飼 貴彦（獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学）

LS1-1 甲状腺機能低下症の臨床的アプローチ：抗体検査に焦点を当てて

渡邊 奈津子（伊藤病院 内科）

14:00~14:50 一般演題1 眼症

座 長：神前 あい（オリンピア眼科病院）

渡邊 奈津子（伊藤病院 内科）

O1-1 バセドウ病に対し行った¹³¹I内用療法後に甲状腺眼症が悪化した症例の検討

岩久 建志（医療法人社団甲仁会 さっぽろ甲状腺診療所）

O1-2 甲状腺眼症患者におけるテプロツムマブ治療前後の末梢血リンパ球フェノタイプの変化

山田 賢央（産業医科大学 医学部 第1内科学講座）

O1-3 活動性甲状腺眼症に対するテプロツムマブ治療後のMRI経過と再燃評価の検討

神前 あい（オリンピア眼科病院）

O1-4 日本人の活動性甲状腺眼症に対するテプロツムマブ治療の聴覚への影響

廣松 雄治（新古賀病院 糖尿病・甲状腺・内分泌センター／久留米大学医療センター 糖尿病センター）

15:00~15:50 一般演題2 妊娠

座 長：荒田 尚子(国立成育医療研究センター 女性総合診療センター女性内科)
吉原 愛(伊藤病院 内科)

- O2-1 妊娠後期もTRAb高値が持続した難治性バセドウ病合併妊娠の一例
市川 瑠美子(大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 母性内科)
- O2-2 TSH正常高値不妊女性に対するLT4投与の意義— ATAガイドライン改訂を踏まえた後ろ向き検討 —
塚本 由佳(天満橋甲状腺クリニック)
- O2-3 閉経移行期と甲状腺機能の経時的変化：健常女性を対象とした大規模縦断研究
井上 浩輔(京都大学 大学院医学系研究科 健康増進・行動学分野)
- O2-4 妊娠中の甲状腺ホルモン感受性の検討
福下 美穂(伊藤病院 診療部 内科)
- O2-5 甲状腺全摘術後13年を経てもTSH受容体抗体(TRAb)高値が遷延し、新生児甲状腺機能亢進症を来したバセドウ病術後妊娠の1例
平井 健太郎(伊藤病院)

17:40~18:30 イブニングセミナー1 甲状腺癌治療の”次の一段” -どう選び、どう活かすか- ノバルティス ファーマ株式会社

座 長：伊藤 研一(信州大学医学部外科学教室 乳腺内分泌外科学分野)

- ES1-1 臨床課題から紐解く甲状腺癌治療 -BRAF変異例における患者ベネフィット最大化と治療選択-
岡野 晋(東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室)
- ES1-2 治療シークエンスの中でどう活かすか -BRAF/MEK阻害薬治療の至適導入タイミングを考える-
小山 泰司(神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科)

■■■■■■■ 10月22日(木) 第3会場(仙台国際センター展示棟 会議室2) ■■■■■■■

12:50~13:40 ランチョンセミナー2 BRAF変異陽性分化型甲状腺癌におけるレンバチニブの今 までとこれから

エーザイ株式会社

座 長：岡野 晋(東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室 特任准教授)

- LS2-1 ゲノム医療時代のレンバチニブの立ち位置を考える～選択的キナーゼ阻害薬の登場で何が変わったのか?～
福田 直樹(がん研究会有明病院 総合腫瘍科 医長)
- LS2-2 分化型甲状腺癌に対する薬物治療レンバチニブの役割と至適使用を目指して
平野 滋(京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

14:00~14:50 一般演題3 検診

座 長：鈴木 真一(JCHO 二本松病院/福島県立医科大学外科/甲状腺内分泌学)
志村 浩己(福島県立医科大学 臨床検査医学講座)

- O3-1 正常甲状腺機能を有する小児における甲状腺の大きさとTSHの負の調節関係について：福島県「県民健康調査」
阿部 紀和(福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター)
- O3-2 福島第一原発事故後の緊急作業従事者における甲状腺調査 Part 1：2023年度までの甲状腺超音波検査結果
今泉 美彩(放射線影響研究所 臨床研究部)
- O3-3 福島第一原発事故後の緊急作業従事者における甲状腺調査 Part 2：健診受診者における甲状腺癌症例の検討
原口 愛(長崎大学病院 内分泌・代謝内科)

- O3-4 福島県「県民健康調査」甲状腺検査二次検査の対象者と家族からのサポート開始初期における相談内容の特徴
池田 紀子（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター／福島県立医科大学 医学部 災害こころの医学講座）
- O3-5 福島県「県民健康調査」甲状腺検査における嚢胞の分析
濱岡 豊（慶応義塾大学 商学部）

15:00～15:50 一般演題4 診断

- 座 長：堀内 喜代美（東京女子医科大学 内分泌外科）
金本 巨哲（国立病院機構京都医療センター 内分泌・代謝内科）
- O4-1 5種類の遺伝子（RET・MEN1・THRB・CASR・TSHR）の遺伝学的検査と病的バリエーションの同定率
菅野 圭佑（医療法人 神甲会 隈病院 臨床検査科）
- O4-2 GHRP2負荷試験が診断および術後評価に有用であった微小TSH産生PitNETの1例
高橋 直也（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科／千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）
- O4-3 甲状腺中毒症の鑑別診断におけるTRAbおよびTc uptakeの有用性—当院における後方視的検討—
達増 みずき（東北医科薬科大学 医学部 糖尿病代謝・内分泌内科）
- O4-4 良性診断から再発を来した濾胞癌に対しFAM19A2染色が示した診断的意義
軸藺 智雄（日本医科大学付属病院 内分泌外科／大阪公立大学大学院 創薬科学研究科）
- O4-5 結節性甲状腺腫における腺腫様甲状腺腫と濾胞性腫瘍の術前予測因子の検討
松津 賢一（伊藤病院 外科）

17:40～18:30 イブニングセミナー2 甲状腺癌における集学的治療の実践 ～BRAF遺伝子変異陽性症例を中心に～

小野薬品工業株式会社

- 座 長：堀内 喜代美（東京女子医科大学 内分泌外科学分野 准教授）
- ES2-1 甲状腺癌における集学的治療の実践～ BRAF遺伝子変異陽性症例を中心に～
友田 智哲（伊藤病院 外科 医長）